

産業構造審議会 産業技術環境分科会  
各小委員会の動き

## 研究開発・イノベーション小委員会の主な動き

### 1. 1年間の開催状況(令和3年7月～令和4年6月)

開催日	主な議題
令和3年10月11日 ～13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発改革ワーキンググループの設置について(書面審議)</li> </ul>
令和4年3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発改革ワーキンググループ「最終取りまとめ」の報告</li> </ul>

### 2. 主な審議事項

- 2021年10月に、研究開発・イノベーション小委員会の下に設置された研究開発改革ワーキンググループの「最終取りまとめ」について報告を受け、これを議論した。

#### ※「最終取りまとめ」について

- ✓ 同ワーキンググループでは、経済産業省の実施する①研究開発プロジェクトの在り方及び②国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)の在り方という二つのテーマについて審議し、具体的な取組事項を「最終取りまとめ」において整理した。
- ✓ ①については、小委員会において、研究開発事業の方向性として開発を柔軟に進める「アジャイル型」の研究開発事業の在り方について論点整理がなされていたこと等を踏まえ、特に、急激に変化する社会や先端技術に対応して、非連続なイノベーションにつながるような技術インテリジェンス機関の在り方及びその位置付け、野心的な研究開発事業を実現する具体的な方策、研究開発事業をより戦略的で、かつ、適切な資源配分によって実施するための評価方法の見直しについて、今後、取り組むべき具体的な内容を整理。
- ✓ ②については、科学技術・イノベーションを巡る環境変化に加え、産総研に係る各種の制度改正や産総研理事長のイニシアティブによる各種取組の状況も踏まえながら、産総研の立ち位置を今一度検証し、更なる価値向上を目指すための産総研の在り方と今後の具体的な取組について、具体的には、資金(研究資金等)、橋渡し機能、研究力(人材等)の三つの観点から議論し、今後、取り組むべき具体的な内容を整理。

## 知的基盤整備特別小委員会の主な動き

### 1. 1年間の開催状況(令和3年7月～令和4年6月)

開催日	主な議題
令和4年3月15日	<ul style="list-style-type: none"><li>第3期知的基盤整備計画の進捗状況及び今後の取組について</li></ul>

### 2. 主な審議事項

- 第3期知的基盤整備計画の進捗状況及び今後の取組について審議を行った。
- 審議の結果、各実施機関において、現在実施している広報の取組の継続、関係省庁等との連携や社会実装の成果の見える化等、委員からの指摘を踏まえ、引き続き取り組んでいくこととなった。また、今後も合同会議において毎年度の進捗状況の確認を実施し、今後の取組について審議を進めていくこととなった。

## 地球環境小委員会の主な動き

### 1. 1年間の開催状況(令和3年7月～令和4年6月)

開催日	主な議題
令和4年5月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年度における地球温暖化対策計画の進捗状況について(経済産業省関連施策)</li> <li>低炭素社会実行計画(第1フェーズ)とカーボンニュートラル行動計画の評価・検証等について</li> </ul>
令和4年5月23日～27日 ※第9回中央環境審議会 地球環境 部会低炭素 社会実行計画フォロー アップ専門委員会との 合同会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>低炭素社会実行計画(第1フェーズ)とカーボンニュートラル行動計画の評価・検証等について</li> </ul>

### 2. 主な審議事項

- 地球温暖化対策計画の経済産業省関連施策について進捗状況のフォローアップを行った。
- 地球温暖化対策計画において産業界の中心的役割とされている低炭素社会実行計画について、小委員会の下分野別ワーキンググループでのフォローアップ結果を報告するとともに、業種横断的にフォローアップを行った。

## 産業環境対策小委員会の主な動き

### 1. 1年間の開催状況(令和3年7月～令和4年6月)

開催日	主な議題
令和4年3月7日	<ul style="list-style-type: none"><li>揮発性有機化合物(VOC)排出抑制のための自主的取組の状況</li><li>水銀要排出抑制施設の自主的取組の状況</li><li>公害防止管理者制度の今後の在り方について</li><li>その他の産業環境対策に関する取組状況</li></ul>

### 2. 主な審議事項

- 揮発性有機化合物(VOC)排出抑制のための自主的取組の状況について報告を行った。
- 水銀の大気排出抑制のための事業者の自主的取り組みについて報告を行った。
- 公害防止管理者制度の今後の在り方について、資格者の安定確保のための制度設計について議論した。
- 水質環境規制、土壌汚染対策、PCB廃棄物の適正処理、公害防止管理者制度に関する最近の動向について報告を行った。

## グリーントランスフォーメーション推進小委員会の主な動き

### 1. 1年間の開催状況(令和3年12月～令和4年6月)

開催日	主な議題
令和3年12月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンエネルギー戦略の策定に向けた検討</li> </ul>
令和4年1月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の議論の方向性及び関係団体からのヒアリング</li> </ul>
令和4年2月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーを起点とした産業のGX(グリーントランスフォーメーション)について及び関係団体からのヒアリング</li> </ul>
令和4年3月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーを起点とした産業のGX(グリーントランスフォーメーション)について</li> <li>関係団体からのヒアリング</li> <li>カーボンニュートラル実現に向けた国際戦略</li> </ul>
令和4年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーを起点とした産業のGX(グリーントランスフォーメーション)について及び有識者からのヒアリング</li> </ul>
令和4年4月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンエネルギー戦略の策定に向けた検討</li> </ul>
令和4年4月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンエネルギー戦略の策定に向けた検討</li> </ul>
令和4年5月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンエネルギー戦略の策定に向けた検討(中間整理)</li> </ul>

### 2. 主な審議事項

- 2050年カーボンニュートラル、2030年度温室効果ガス排出量46%削減という二つの野心的な目標に向け、グリーン成長戦略等において、今後の進むべき方向性が示されてきたことも踏まえつつ、成長が期待される産業ごとの具体的な道筋、需要サイドのエネルギー転換、クリーンエネルギー中心の経済・社会、産業構造の転換、地域・くらしの脱炭素化に向けた政策対応などについて、クリーンエネルギー戦略として整理していくための議論を行った。その中で、今回のロシアによるウクライナ侵略や電力需給ひっ迫も踏まえ、今後進めるエネルギー安全保障の確保と、それを前提とした脱炭素化に向けた対応についても議論を行った。
- 令和4年5月19日に、「クリーンエネルギー戦略 中間整理」を公表した。